

6月のはなし



6月は一日の昼の時間が一番長い夏至があります。が、そろそろ梅雨の初めとなっていく時でもあります。外で遊べない時には「絵本」はいかがですか。いま、大人向けの「絵本セラピー」というものがあります。大人になって絵本を読んでもらったことがありますか？読んであげることはあっても読んでもらうことはあまりないと思います。絵本は本当にさまざまな種類があります。その絵本を読んでもらいながら思ったことを語り合ったり、笑ったり、泣いたりするものです。参加することはハードルが高いため、子どもと一緒に楽しむ絵本をお勧めします。文字が読めるようになると「自分で読めるでしょ。」となることもあると思いますが、お母さん、お父さんに読み聞かせをしてもらうことで絵本の世界がより広がったり、心や脳の成長につながったりします。時間を作ってゆっくり読み聞かせをしてください。

■ 子どもには子どもの考えがあることに今一度そうかと思える絵本。

ヨシタケ シンスケ の絵本は何度読んでも楽しめます。

「りゆうがあります」「もうぬげない」「おしっこちょっぴりもれたろう」

「なんだろうなんだろう」「ころべばいいのに」「ぼくのニセモノをつくるには」

「このあとどうしちやおう」…私の年代には特に考えさせられます

■ 最後のオチがある絵本。この世の中、理不尽なことがよくあります。そんな時に読んでみましょう。笑って元気をもらいましょう。

「ちがうねん」(クレヨンハウス) 「へんしんとんねる」(金の星社)

「おじいさんとパン」(バイインターナショナル) 「からからからが」(文研出版)

「だじゃれどうぶつえん」(絵本館) 「いいからいいから」(絵本館)

「しろくまのぱんつ」(ブロンズ新社)…絵本がパンツをはいています。

■ 言葉遊びが楽しい絵本。声を出して読む絵本。親子で声を合わせて楽しみましょう。そして、雨雲を吹き飛ばしましょう。

「まめうしくんとこんにちは」(PHP 研究所) 「おならうた」(絵本館)

「ねんどくん どんなおと?」(講談社)

まだまだ、楽しい絵本はたくさんあります。また、ご紹介しますね。

園長 宇佐美すみれ